

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
ICU/CCU 部部长兼部長 兼リハビリテーションセンター副センター長	松江 一
副医長	吉田 卓矢
医 員	松浦 良平
医 員	後藤 隆純

－概要－

近年、循環器疾患の治療を要する患者は、高齢化、他疾患の併存など、その背景が大きく変化し、ますますハイリスクとなっています。これらの患者に対して、専門施設による急性期治療だけでは、ADLやQOLを保ちつつ予後を改善することは困難です。専門施設においては、患者を中心に、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法士、臨床工学技士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多職種からなるチームが連携し、急性期診療を行うことが必須です。

また、慢性期の日常臨床においては、患者、かかりつけの先生方（病診・病病連携）、専門施設が連携し、患者や地域の背景に適した診療を行うことが大切となります。

りんくう総合医療センター心臓センターは、これまで泉州地域の心臓病診療の中核的な役割を担ってきましたが、りんくう総合医療センターと大阪府立泉州救命救急センターとが、一元化した循環器救急診療を運営することになり、極めて強力な診療チームが結成されました。

心臓血管外科領域の治療においては、このような社会背景の中、重症な病態の患者に質の高い医療を提供すること、また、ハイリスクな患者に、より「低侵襲」な治療を行うことが求められます。低侵襲治療に関しては、既に臨床応用され、広く普及しつつある大動脈カテーテル治療に加え、大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療も本邦に導入されます。新しい治療法やデバイスが盛んに開発されており、今後益々発展する領域です。

当科では、従来の冠動脈バイパス手術、弁膜症手術、大動脈、末梢血管手術に加え、大阪大学心臓血管外科と連携し、高度な大動脈カテーテル治療を行っています。また、一般病院では治療困難な重症心不全の患者に対し、植込み型補助心臓や再生治療等の医療を受けて頂く橋渡しを行います。

－実績－

2012年1月1日～12月31日

心臓血管外科では、冠動脈疾患、心臓弁膜症、成人先天性心疾患、大動脈瘤、末梢動脈閉塞、静脈瘤などに対する外科治療を行っています。冠動脈バイパス術、弁膜症手術、胸部大動脈を含む心臓手術数は、79件であり、手術総数は154件でした。

また、大動脈カテーテル治療を19例（胸部5例、腹部14例）行いました。